

令和6年度第1回『地下鉄・バス「MOTTO!」利用促進本部会議』の開催

本市では、アフターコロナにおける交通局の経営状況を踏まえ、市バスの混雑対策にも取り組みながら、地下鉄・バスの増客の取組を強力に進めるため、副市長を本部長とする「京都市バス・地下鉄を守るための利用促進本部」を『地下鉄・バス「MOTTO!」利用促進本部』（以下、「本部」という。）に改め、本市のあらゆる施策を総動員し、全庁体制で公共交通の利用促進に取り組むこととし、令和6年度第1回の本部会議を開催します。

1 日 時

令和6年9月5日（木）午前11時～12時

2 場 所

京都市消防庁舎 7階 作戦室

〒604-0931

京都市中京区押小路通河原町西入榎木町450-2

3 内 容

- (1) 市バス・地下鉄の経営状況について
- (2) 本部会議の再構築について

4 本 部 員

別紙のとおり

5 その他

報道機関の方には、記者席を設けています。

(参考) 本部会議の再構築について

- ・ コロナ禍により市バス・地下鉄が極めて厳しい経営状況に直面する中、将来にわたり市民の暮らしとまちの様々な活動を支えていくため、令和4年度から、「京都市バス・地下鉄を守るための利用促進本部」の下、コロナ拡大防止と社会経済活動の両立を図りつつ、全庁体制で増客の取組を推進してきました。
- ・ 昨年5月に新型コロナが5類に移行したことや、円安を背景とする外国人旅行者等の増加もあり、市バス・地下鉄の御利用は一定の回復傾向が見られるものの、コロナ前の令和元年度には及んでおらず、更なる増客策を推進する必要がある一方、市民生活と観光の調和に向けて、市バスの混雑対策にも取り組む必要もあります。
- ・ これらの状況を踏まえ、今回、本部の名称を『地下鉄・バス「MOTTO!」利用促進本部』に改め、「更なる増客」と「市バスの混雑対策」を目的として、「市バス赤字系統の利用促進」、「地下鉄とバスを組み合わせた移動への誘導」を重点に、より実効的な取組の実施を目指してまいります。

地下鉄・バス「MOTTO!」利用促進本部 名簿

別紙

本部長
副本部長

職 名	氏 名
副 市 長	竹 内 重 貴
公 営 企 業 管 理 者 交 通 局 長	北 村 信 幸
都 市 経 営 戦 略 監	西 田 良 規
企 画 監	奥 井 拓 史
産 業 ・ 文 化 融 合 戦 略 監	砂 川 敬
文 化 芸 術 政 策 監	草 木 大
デ ジ タ ル 化 戦 略 監	尾 崎 学
観 光 政 策 監	土 橋 聡 憲
木 の 文 化 ・ 森 林 政 策 監	猪 田 和 宏
環 境 政 策 局 長	善 積 強
地 球 環 境 ・ エ ネ ル ギ ー 担 当 局 長	田 中 公 太 良
行 財 政 局 長	西 村 健
人 事 担 当 局 長	藤 田 洋 史
財 政 担 当 局 長	神 田 広 貴
総 合 企 画 局 長	結 城 実 照
文 化 市 民 局 長	山 本 ひ と み
産 業 観 光 局 長	(産 業 ・ 文 化 融 合 戦 略 監 兼 職)
保 健 福 祉 局 長	並 川 哲 男
子 ども 若 者 は ぐ く み 局 長	福 井 弘
都 市 計 画 局 長	籾 哲 也
都 市 政 策 担 当 局 長	平 井 忠 之
建 設 局 長	古 川 真 文
消 防 局 長	名 畑 徹
交 通 局 次 長	大 塚 健 志
上 下 水 道 局 次 長	日 下 部 徹
教 育 次 長	春 田 寛
北 区 長	川 妻 聖 枝
上 京 区 長	原 真 弓
左 京 区 長	森 元 正 純
中 京 区 長	梅 林 信 彦
東 山 区 長	中 西 朋 子
山 科 区 長	山 口 ひ か り
下 京 区 長	樹 下 康 治
南 区 長	今 井 邦 光
右 京 区 長	人 見 早 知 子
西 京 区 長	三 科 卓 巳
洛 西 担 当 区 長	山 中 か お り
伏 見 区 長	上 田 純 子
深 草 担 当 区 長	北 條 昌 代
醍 醐 担 当 区 長	横 山 克 久